

令和元年 10 月 1 日

エンジニアリング協会 関係者の皆様へ

一般財団法人 エンジニアリング協会

専務理事

前野 陽 一

今年の 9 月は、国内では台風被害が目立った月でした。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。一方、海外に目を転じると、9 月 14 日（土）に起こったサウジアラビア東部の石油施設に対するドローン攻撃が印象的な月でした。

これまでもサウジアラビアのパイプラインなどへのドローン攻撃はありましたが、これほど大規模なものではありませんでした。

たまたま（一財）中東協力センターの「中東講座」が 9 月 24 日（火）に開かれ、そこで、3 人の講師の方が本件を取り上げられました。皆様の中にも、お聞きになられた方がおられるかもしれませんが、私なりに要約すれば以下のとおりです。

1 だれ（どの組織）がドローン攻撃を行ったかは不明

報道されているとおり、イエメンのフーシ派が「自分たちが行った」と発表しているが、米国は「イランの仕業」としている。真偽は不明だが、仮にイランが実行者とすれば、ハメネイ・イラン最高指導者の承諾なしに行われた可能性は低い。

2 仮にイランが実行者として、なぜ攻撃を行ったか

イランは、米国トランプ政権が手詰まりであることを熟知している。すなわち、トランプ大統領は再選のために軍事行動を起こすことはできず、経済制裁も行き着くところまで行ってしまったので、「一層強力な経済制裁」といったものはない。フランスがイランに対して 150 億ドルの信用供与を検討しており（イラン核合意への復帰の見返り）、これを実現するための布石かもしれない。

3 この攻撃はどのような効果をもたらすか。

今回の攻撃は、ドローンを 1000km 以上飛ばして行った攻撃であるが、ピンポイントでターゲットに命中させている。また、米国により築かれた防空網が、ドローン攻撃には全く役に立たないことを、広く知らしめてしまった。今回の被害の復旧は、数ヶ月でできると思うが、今後同様の攻撃が行われる可能性を否定できない。その意味で、エネルギー市場に与える効果（心理的な効果を含めて）は、大きい。

なお、この「中東講座」では、日本人としてただ 1 人リアドでレストランのシェフを行っている方の講演もありました。サウジアラビアの特徴を以下のようにおっしゃったのが、印象的でした。

1 サウジアラビアを含めて、中東諸国の人々は豊か

中東諸国の一人当たり所得は、他地域に比べてかなり高い。自分がシェフをしている日本食レストラン（顧客は若者中心）の客単価は、平均 8500 円である。

2 サウジアラビア人は概して保守的であるが、若者や女性はより活動的になってきている

サウジアラビア人は、友人になるまで外国人を信用しない（友人になれば、率直に話をしてくれる。）。若者は SNS を使い、様々なコミュニケーションをとっており、承認欲求は高い。女性は、普通に車の運転をしており、レストランでは黒い布で顔を隠さない人も多くなっている。

3 サウジアラビア人は、他人を世話することが苦手

海外留学を経験した若者も多く、起業を目指す人も増えている。他方、個人主義が徹底しており、他人を世話する（例：秘書、看護師）ことが苦手である。このことは、サウジアラビア人も自覚している。

以下、9 月の主な活動についてご報告申し上げます。

[主要な活動内容]

1 講演会等の開催

9月は、6件のビジネス講演会及び安全法規部会主催の講演会を実施いたしました。

10月は、1件の特別講演会、4件のビジネス講演会及び1件の部会主催の講演会を行うほか、18日（金）には、エンジニアリングシンポジウム 2019 を実施する予定です。（<https://www.ena.or.jp/seminar/39563>）

皆様のお越しをお待ちしております。

2 第3国における日米インフラ協力

9月11日（水）に、当協会において、在日米国大使館主催の日米企業間パートナーシップ推進のためのイベントを実施しました。

当日は、当協会の賛助会員企業に関心を有する米国企業やアジア開発銀行の官民連携部の方などが、プレゼンテーションを行いました。米国企業には、日本でも著名なダウ・ケミカル社やスリーエム社などが含まれており、最後のネットワーキング懇親会まで、大いに盛り上がりました。

米国大使館の関係者からは、今回のイベントの成功を踏まえ、今後一層、当協会と協力関係を強めていきたい、と言っていました。

3 企画会議の開催

9月12日（木）に、本年度第2回の企画会議を開催いたしました。今回から、委員長が千代田化工建設株式会社 常務執行役員 和田秀一様となるなど、一部委員の変更もありました。

会議では、2019年度エンジニアリング白書など、最近の当協会の活動状況についてご審議いただきました。

4 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

石塚 博昭 理事長訪問

9月20日（金）に、当協会の永松治夫理事長のお供をして、NEDOの石塚理事長を訪問しました。当日は、石塚理事長のほか、及川洋 副理事長及び三橋敏宏 特命審議役（元 経済産業省 国際プラント室長）にもお会いしました。NEDOでは、様々な事業に取り組んでおられますが、石塚理事長は特にオープンイノベーションにご関心があるようで、興味深いお話をいただきました。

5 地下開発利用研究センター 30周年記念パーティー

9月20日（金）に、地下開発利用研究センター 30周年記念パーティーを協会内で実施いたしました。

当日は、永松理事長をはじめ、約150名の関係者の方にお越しいただき、文字通り「足の踏み場もない」様な盛況となりました。私も今まで様々なパーティーを開いてきましたが、今回ほどお酒の差し入れのあったものはなく（お花も頂戴しました。）、かつ、あっという間に数十本の日本酒やワインが空になり、中締めまで参加者が減らないという、すさまじいパーティーでした。

関係者の皆様には、改めてお礼申し上げます。

6 その他

今月は、静岡県庁や福島県庁の方が当協会に起こしになり、また、青森県主催のパーティーにご招待いただくなど、地方公共団体の皆様との交流も多い月でした。今後、地域の様々な情報についても、賛助会員企業の皆様にお伝えしていきたいと考えております。

10月の講演会の実施について

令和元年 10 月 1 日
エンジニアリング協会
専務理事 前野陽一

10 月は、1 件の特別講演会、4 件のビジネス講演会及び 1 件の部会主催の講演会を行うほか、18 日（金）には、エンジニアリングシンポジウム 2019 を実施する予定です。（<https://www.ena.or.jp/seminar/39563>）

皆様のお越しをお待ちしております。

1 香港騒乱とビジネスリスク

（10 月 1 日（火）10 時から 憐亀屋 代表取締役社長 山崎 正晴 様
ジャーナリスト兼アジア専門アナリスト
Gavin Greenwood 様）

6 月に「逃亡犯引渡し条例」を契機として始まった香港における混乱は、未だ正常化の目途がついていません。

今回は、香港在住のジャーナリスト兼アジア専門アナリストである Gavin Greenwood 様をお招きし、長年リスクコンサルタントとしてご活躍されている山崎様との対談の形で、最新の状況をご説明いただきます。

なお、今回の講演は、基本的に英語で行います。

海外営業部門の皆様を中心に、お聞きいただければ幸いです。

2 プラスチック問題への対策 ～ 期待されるビジネスチャンス ～

（10 月 9 日（水） 15 時 30 分から

㈱三菱総合研究所 環境・エネルギー事業本部
環境イノベーショングループ 主席研究員 古木 二郎 様）

循環型社会システム研究部会主催のミニ講演会です。プラスチックに対する規制が世界的に強化されていく中で、今後どのような課題があり、それを如何にビジネスチャンスに変えられるかについて、お話しいたします。

3 当面の内外政治・経済情勢と金融市場見通し

～ 世界経済を左右する米中貿易摩擦の行方は ～

(10月10日(木) SMBC日興証券株式会社 投資情報部

部長 野村 真司 様)

世界経済は、2018年をピークに減速しています。加えて、米中貿易摩擦、香港での引き続くデモ、中近東の地政学リスク、英国のEU離脱をめぐる混乱など、下振れリスクは枚挙に暇がありません。

こうした中で、今後の世界経済をどう見通すかについて、SMBC日興証券のアナリストである野村様からお話をいただきます。

海外営業部門、財務部門など多くの方のお越しをお待ちしております。

4 “福島イノベーション・コースト構想”

～ 被災地の産業集積を加速させる切り札 ～

“福島ロボットテストフィールド”

～ 世界に類を見ないロボットの一大研究開発拠点 ～

(10月16日(水) (公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構

産業集積部 企業誘致担当課長 稲葉 喜則 様

福島ロボットテストフィールド

副所長 細田 慶信 様)

福島県では、「浜通り」に新たな産業基盤を構築するプロジェクト（福島イノベーション・コースト構想）を進めています。

今回の講演では、現状までの進捗状況と今後の計画について、実務を担当されているお二人から、詳しくお話しいたします。

福島県の復興に関心のある方や、新たな技術開発に関心のある方に、お越しいただければ幸いです。

5 最新のエネルギー情勢を語る（仮題）

（10月23日（水） （一財） 日本エネルギー経済研究所

理事長 豊田 正和 様）

エネルギーをめぐる状況を見ると、洋上風力発電の推進のための新たな法律が制定されるなど、明るい話題もありますが、ホルムズ海峡におけるタンカー襲撃事件やサウジアラビアの石油関連施設に対するドローン攻撃など、地政学上のリスクは高まっています。

こうした状況をどのように見るべきかについて、「2018 世界シンクタンク・ランキング（2018 Global Go To Think Tank Index report）」のエネルギー・資源政策部門で、世界第2位に選ばれた（一財）日本エネルギー経済研究所理事長の豊田様からお話をいただきます。

エネルギー部門の皆様を中心に、お越しいただければ幸いです。

6 国際テロ情勢 ～ ISILの現状及び東南アジア等各地域のテロ情勢 ～

（10月29日（火） 公安調査庁 （講師未定））

日本のマスメディアにおける報道ではあまり目立ちませんが、海外におけるテロリストの活動は、全く収束の兆しが見えていません。

国際テロリズムを注意深く見ておられる公安調査庁の専門家から、最新の状況をご説明いただきます。

安全対策部門の皆様に、是非お聞きいただければ幸いです。